

一般廃棄物運搬処分業務

1. 業務概要

施設の各槽内の沈砂、細砂等の沈殿物及びスカム（以下「一般廃棄物」という。）を除去（以下「清掃作業」という。）し、これにより回収した沈砂、細砂等の沈殿物及びスカムを運搬及び処分（以下「運搬処分」という。）するものである。

- （1）清掃作業で回収した一般廃棄物は受託者がこれを適正に処分すること。
- （2）各槽から除去した汚水の上澄水は、生し尿受入槽又は浄化槽汚泥受入槽に戻すこと。
- （3）業務実施にあたっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令の定める基準を遵守すること。
- （4）清掃作業にあたっては、安全管理に努め万全の処置を講じること。
- （5）槽内に入って清掃作業を行う時は、作業員の中から酸素欠乏危険作業主任者を選任し、槽内の酸素、硫化水素の濃度を測定し、作業の方法を決定し指揮するものとする。
- （6）受託者は年度開始に合わせて、1年分の一般廃棄物運搬処分業務実施予定表を当組合に提出すること。

2. その他

- （1）清掃作業で回収した一般廃棄物が適正に処分されているかの現地視察を毎年1回以上行うこと。
- （2）その他記載のない事項については、その都度協議するものとする。

一般廃棄物運搬処分業務計画予定書

(1) 定期清掃作業計画表

名 称 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
生し尿、浄化槽汚泥受入沈砂槽（3ヶ所）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
貯留槽砂溜まりピット（5ヶ所）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
生し尿、浄化槽汚泥受入槽（2ヶ所）					○							
生し尿、浄化槽汚泥貯留槽（1）（2ヶ所）					○							
生し尿貯留槽（2）					○							
浄化槽汚泥貯留槽（2）					○							
予備貯留槽					○							

(2) 予定数量について

受入沈砂槽・砂溜まりピット清掃 $6 \text{ m}^3 \times 12 \text{ 回} / \text{月} = 72 \text{ m}^3$
 貯留槽の清掃 $24 \text{ m}^3 \times 1 \text{ 回} (8 \text{ 月}) = 24 \text{ m}^3$
 その他 緊急時など

(3) 定期清掃作業予定日

- ・受入沈砂槽・砂溜まりピット清掃の実施は毎月搬入車両の受入に支障がない日時に行うこととする。毎月の清掃実施日の間隔は出来るだけ均等になるように計画すること。
- ・8月は、受入沈砂槽・砂溜まりピット清掃の他に貯留槽の清掃を実施するものとする。

(4) その他

- ・施設の搬入状況及び処理状況等、やむを得ず予定日を変更しなければならない時は、速やかに実施日の調整をすること。